

序章

新時代を迎えるまちに向けて

北陸新幹線全線開業を控え、希望あふれる新たなまちの実現をめざし、市民・団体・事業者・行政のまちづくり意識を

取り組むこと

新時代に向けたまちづくり、持続可能なまちづくり、さらなる地域力の向上

ステージアップし、「みんなで描く、悠久の歴史と風土が活きるまち」を描いていきます。

第1章

新たな時代を担う人を育むまちの実現

本市のすばらしい自然と落ち着いた環境を活かした、質の高い子育てや教育の提供はもちろんのこと、ICT（情報通信技術）教育など新たな時代に対応できる高い志を持つ

取り組むこと

生涯食育の推進、子育て環境の充実、学校教育の充実、社会教育の充実

た人づくりに取り組むとともに、地域資源を活かしたふるさと学習や地域団体と連携した地域活動の展開など、郷土愛の醸成に取り組めます。

第2章

みんなが安全・安心に暮らせるまちの実現

災害から市民の生命・財産を守るとともに、交通安全や防犯の強化など、市民が安全・安心な暮らしを営むことができるまちづくりを進めます。また、市民が自ら健康に関心を持

取り組むこと

安心して暮らせるまちづくり、健康づくりの推進、地域共生社会の実現

つとともに、支え合いながら元気に暮らせるまちづくりを進めます。

第3章

悠久の歴史と風土を活かした観光のまちの実現

本市が有する地域固有の文化が外部から評価されることにより、市民の誇りや郷土愛の醸成、文化の継承や新たな魅力の創造、さらに新たな来訪者を呼び込むといった好循環を生み出すしくみづくりに取り組めます。北陸

取り組むこと

観光・交流活動、文化財の活用・保存、環境保全の推進

新幹線敦賀開業やその先の北陸新幹線全線開業を視野に入れ、人と人が笑顔で行き交うまちの創造に取り組み、観光交流人口の増加により、観光消費額を拡大させ、地域経済の発展を図ります。

第4章

活力ある産業をみんなで育てるまちの実現

商工業や農林水産業など地域資源を活用した産業において、先端技術の導入や観光業など他分野との連携により地域経済循環のしくみづくりを進めます。新型コロナウイルス感

取り組むこと

商工業の振興、農林水産業の振興

染症の拡大による「新たな常態・常識（ニューノーマル）」への対応のほか、ライフスタイルの変化に合わせ、テレワークなどを活用した多様な働き方を推進します。

第5章

新たな時代に向けた住み心地の良いまちの実現

新高速交通時代の到来や自動制御・自動運転技術をはじめとする先端技術の発達など、社会の変化に適切に対応することにより、新

取り組むこと

新高速交通時代に向けて住み心地の良いまちの形成

たな時代をすべての市民が笑顔で迎えることのできるまちづくりを進めます。

◀計画の詳しい内容は、市HPに掲載しています 問い合わせ 未来創造課 ☎ 64・6008



小浜がめざす将来像に向かって

第6次 小浜市総合計画がスタート

市では、昨今の人口減少、少子・高齢化やデジタル化の進展、また経済のグローバル化などの社会経済情勢の変化を踏まえ、これまでの取り組みの成果を評価した上で、今後10年間のまちづくりの指針となる新たな総合計画を策定しました。



小浜市がめざす将来像

みんなで描く、悠久の歴史と風土が活きるまち

～新たな時代の御食国 若狭おばま～

令和12年度末ごろまでを目標とする「北陸新幹線全線開業」による新高速交通時代の幕開けを控え、失ってはならない「小浜のアイデンティティ（小浜らしさ※）」をあらためて見直し、守り、研ぎ、育成するとともに、食の基盤となる産業をはじめ、さまざまな分野・業界を結びつけ、人や地域資源を含めた「みんな」で未来の姿を描く「協働（オール小浜体制）のまちづくり」を加速します。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会のしくみや生活様式が大きく変わろうとしている中、これまで培われた財産を土台に、AI（人工知能）やIoT（モノがインターネット通信でつながる）といった新技術などを柔軟に取り入れながら、新しい時代の小浜のまちに暮らす市民・団体・事業者が、それぞれの夢を実現できるまちづくりをめざします。

※小浜らしさ 豊かな風土、歴史、文化、民俗、教育、産業、人柄など

総合計画とは

総合計画は、どのような「まち」をめざして、誰がどのようなことをしていくのかをまとめた市の最上位計画です。市政運営の行政計画であるとともに、市民・団体の事業者など地域の主体が目標を共有し、共に取り組むことを位置付けています。

この計画の期間は、令和3年度～令和12年度の10年間です。

持続可能な開発目標

（SDGs）への取り組み

平成27（2015）年の国連サミットにおいて採択されたSDGsは、「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性（一定の範囲の中に包み込む）のある社会」の実現をめざし、国際社会が協調して取り組む世界共通の目標です。

小浜市では、第6次小浜市総合計画の各政策施策分野において、SDGsがめざす17のゴールを関連づけることで、総合計画、SDGsを一体的に推進していきます。



小浜市市制施行70周年

小浜市は今年の3月30日に、市制施行70周年を迎えました。この節目の年に、先人たちが築き上げた素晴らしいまちを見つめ直すとともに、記念すべき年を市民の皆さんで祝い、小浜市のさらなる飛躍へつなげていきましょう。

「みんな」で盛り上げる記念事業

小浜市では、70周年を記念してさまざまな記念事業を実施します。

－ 記念事業の特長 －

- 事業の多くは、市民の皆さんの力で実施します
- 事業によって、開催時期や参加対象者が異なります。詳しくは、問い合わせ先（7P）まで

ぜひ参加していただき、70周年を迎える小浜市を「みんな」で盛り上げましょう。

※新型コロナウイルス感染症対策を徹底して実施します。感染症の影響により、事業が中止になる場合があります

事業の区分

「おばまを担う人材（財）と地域」育成枠

人づくり、地域づくりにつながる取り組み

「郷土愛」醸成枠

シビックプライド（郷土愛）醸成につながる取り組み

夜でも「映える」商店街

市民と商店街店主との協働で、小浜駅通り商店街の店舗でシャッターアートを制作し、商店街のにぎわいを生む。

※7月に参加者を募集

【実施団体】小浜駅通り商店街振興組合

OBAMA LIVING PARK CARAVAN PROJECT

市内で活躍する人と新しいチャレンジが集う地域づくりの場を創出。護松園（北塩屋）前の広場から事業をスタートする。※8～11月の第3日曜日に実施予定

【実施団体】OPEN OBAMA

町家 de フェスタ 2021

空き家を活用してフェスタを開催し、楽しみながら伝統建築・町並みの良さを再発見してもらう機会をつくる。

※10月30日④・31日⑤に開催予定

【実施団体】小浜西組町並み協議会

三丁町バザール

三丁町で飲食・フリーマーケット・ワークショップなどを開催してにぎわいを創出。

※9月中旬、10月31日⑤に開催予定

【実施団体】三丁町寄り合い

人権桜の記念標設置・アーカイブ事業

桜の記念標を制作し設置するとともに、子どもたちにハンセン病の歴史を伝え、人権問題への理解を深める。※式典を9月28日④に実施予定

【実施団体】ハンセン病回復者との交流30周年記念事業実行委員会

地酒「岳嵐」吟醸生酒の開発と地下水の有効利用

今富地区内で作付けした酒米を使用し、70周年記念ラベルをあしらった記念醸造生酒の作成と、今富公民館（和久里）敷地に水汲み場の整備。

【実施団体】今富酒造り体験事業の会

「もっと知ろう 小浜の歴史と文化」

市民に「小浜のことを学ぶ場」を提供し、観光ボランティアとして活躍する人材を発掘。

※実施中、本紙13Pで紹介

【実施団体】観光ボランティアガイド 若狭の語り部

エンゼルライン活用 ヒルクライム&スカイツリーの高さから眺める若狭湾

ロードバイク競技の開催に合わせ、スカイツリーの高さから若狭湾を一望できる展望車を設置。

※9月実施予定

【実施団体】ヒルクライム♡エンゼル実行委員会

70周年記念

市民提案事業

鯖街道案内ガイド養成事業

日本遺産「鯖街道」を次代へ守り伝えるために、鯖街道ウォーキングの若手ガイドを育成する。

※10月16日④・17日⑤に実施予定

【実施団体】鯖街道ウォーキング実行委員会

「はばたけ未来へ」20周年記念プリリアントコンサート

市内の若手演奏家によるコンサートと、市民が中心となる記念ミュージカル公演を実施。

※8月29日⑤に実施予定

【実施団体】「はばたけ未来へ」実行委員会

若狭小浜 放生祭 御旅所披露、宵山巡行

若年世代が中心となり、全区の出し物の集結・共演を実現する。

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止が決定

【実施団体】放生祭 祭礼委員会

－ 小浜市クイズ －

これは何の形でしょう？

正解は7P

次のページへ続きます



若狭路博 2003 での千年行列（平成 15 年）



若狭西街道全線開通（平成 21 年）

50 周年

- 平成 20 年
- 平成 19 年
- 平成 17 年
- 平成 16 年
- 平成 15 年
- 平成 13 年
- 平成 11 年
- 平成 8 年
- 平成 7 年
- ◇林野庁の「水源の森百選」に「上根来水源の森」が選ばれる
- ◇若狭小浜が「日本の渚百選」に選ばれる
- ◇若狭西街道（上野・神宮寺）開通
- ◇小浜市食のまちづくり条例制定
- ◇若狭路博 2003 開催
- ◇JR 小浜線電化開業
- ◇中華人民共和国西安市と友好交流提携
- ◇静岡県富士宮市と食のまちづくり交流宣言
- ◇国民文化祭開催
- ◇NHK 連続テレビ小説「ちりとてちん」小浜ロケ・放送
- ◇雲城水が「平成の名水百選」に選ばれる

40 周年

- 平成 3 年
- 昭和 60 年
- ◇内外海小学校開校

30 周年

- 昭和 57 年
- 昭和 52 年
- 昭和 49 年
- ◇大韓民国慶州市と姉妹都市提携
- ◇埼玉県川越市と姉妹都市提携
- ◇鶴の瀬が「名水百選」に選ばれる
- ◇若狭かれいが皇室に初献上

20 周年

- 昭和 46 年
- 昭和 43 年
- ◇奈良県奈良市と姉妹都市提携
- ◇市の木にモミジ、市の花にツツジを選定

10 周年

- 昭和 42 年
- 昭和 40 年
- 昭和 30 年
- 昭和 28 年
- ◇宮川村と加斗村が小浜市に合併、人口 3 万 7 6 9 9 人
- ◇国道 27 号線開通
- ◇第 23 回国民体育大会開催

- ◇奈良県奈良市と姉妹都市提携
- ◇台風 13 号来襲、死者 42 人、重軽傷者 57 人、被害総額 45 億円以上
- ◇宮川村と加斗村が小浜市に合併、人口 3 万 7 6 9 9 人
- ◇国道 162 号線開通
- ◇台風 13 号来襲、死者 42 人、重軽傷者 57 人、被害総額 45 億円以上
- ◇国富村、今富村、口名田村、中名田村の 1 町 7 村が合併、人口 3 万 5 3 8 6 人
- ◇小浜市制施行（小浜市誕生）
- 小浜町、内外海村、松永村、遠敷村、国富村、今富村、口名田村、中名田村の 1 町 7 村が合併、人口 3 万 5 3 8 6 人

市制施行から現在までのあゆみ

これまでの 70 年間に、さまざまな出来事がありました。主な出来事を年表で振り返ります。

70 周年記念
市民協働事業

「人づくり」「地域づくり」につながる事業などに取り組む地区のまちづくり協議会から、市のさらなる地域力向上につなげる事業を募集します

70 周年記念
市民提案事業

将来を担う人材（＝小浜人）づくり、活躍できる地域づくりにつながる事業を市民活動団体から募集し、本市のさらなる地域力の向上につなげます

西津地区

四十二箇所お地藏めぐり～123 体のお地藏さん歩～

地区内に点在する地藏堂 42 箇所・化粧地藏 123 体を巡るマップを作成し、ツアーやスタンプラリーを実施。※11 月 3 日㊥㊦に実施予定

国富地区

旧国富小学校グラウンドの芝生化事業

グラウンドに芝生を植え、「国富の郷 芝生公園（仮称）」として地区民の憩いの場を整備。※実施済み
※このほか全ての地区で事業を計画中です

市制施行 70 周年記念式典

多くの市民の皆さんと市の直近 10 年間を振り返り、市民・団体および関係者などの功績に感謝するとともに、市の優れた地域資源を発信します。

と き 11 月 3 日㊥㊦

内 容 記念式典・市長表彰

※詳細は、広報おばま 11 月号でお知らせします



お笑い芸人 E X I T による地方創生プロジェクト
「^{イグジット} 葵えぽよエリアぶちアゲ活性化ツアー」

E X I T が出会ったモノやスポット、人々の魅力を発信する企画の開催地の 1 つに小浜市が選出され、ツアーが決定。
と き 8 月 22 日㊥
ところ 文化会館（大手町）
主 催 吉本興業（株）
共同開催 小浜市・イワシタ物産（株）



食のまちづくり条例制定 20 周年シンポジウム

市民の皆さんとこれまでの食のまちづくりを振り返るとともに、新たな展開に向けた契機となるよう、シンポジウムを開催。

問い合わせ

- 市民提案・協働事業に関すること 未来創造課 ☎ 64・6008 □ 記念式典に関すること 総務課 ☎ 64・6002
□ 「葵えぽよエリアぶちアゲ活性化ツアー」「食のまちづくり条例制定 20 周年シンポジウム」に関すること 食のまちづくり課（食文化館） ☎ 53・1000

5P のクイズの答え 「小浜市」の形



まちの駅オープンを記念して、放生祭の山車、大太鼓、神楽、獅子が演じ物を披露（平成 28 年）



北陸新幹線小浜・京都ルート決定を受けて、市民の皆さんが喜びの声をあげる（平成 28 年）

70 周年

令和 3 年

令和 2 年

令和元年

平成 31 年

平成 30 年

平成 29 年

- ◇ 農林水産省の「農泊食文化海外発信地域（SAVOR JAPAN）」に認定
- ◇ 「荒波を超えた男たちの夢が紡いだ異空間」北前船寄港地・船主集落」が日本遺産に追加認定
- ◇ 福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会 2018 開催
- ◇ 小浜美郷小学校が開校
- ◇ 「小浜市インフォメーションセンター」がオープン
- ◇ 「鯖街道ミュージアム」がオープン
- ◇ 国富地区で 57 年ぶりにコウノトリのひなが誕生
- ◇ 東京 2020 オリンピック聖火リレー実施

70 周年記念

市民提案事業

環境にやさしく安全なエアガンで、カワウから天然アユを守る！

エアガンとドローンを使用し、カワウやサギの追い払いを実施し、南川の天然アユを守る。
※不定期で開催中
【実施団体】若狭小浜エアソフトガン協会

E - space プロジェクト

市内飲食店の店内を学習スペースとして開放してもらう仕組みをつくる（この事業は高校生が提案）。
【実施団体】E - space チーム

みんなで作ろう七夕まつり

まちの駅に市民から集めた願い事短冊を飾り、七夕期間中はライトアップや特設アトラクションを開催。
※開催済み、本紙 13P で紹介
【実施団体】小浜商工会議所青年部 七夕まつり実行委員会

70 周年記念メッセージ看板の設置

総合運動場前の国道を通る市民に笑顔でがんばってもらうメッセージを届ける。
※設置完了（写真右）
【実施団体】口名田みちもりの会



60 周年

平成 23 年

平成 21 年

- ◇ 若狭西街道全線開通
- ◇ 道の駅「若狭おばま」オープン
- ◇ 舞鶴若狭自動車道小浜 I C 供用開始
- ◇ 中華人民共和国平湖市と友好都市提携
- ◇ 大相撲「若狭小浜場所」開催
- ◇ 舞鶴若狭自動車道全線開通
- ◇ 「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群」御食国若狭と鯖街道」が日本遺産第 1 号に認定
- ◇ 「ミラノ国際博覧会」に出展
- ◇ 「小浜市まちの駅・旭座」がオープン
- ◇ 上方落語協会と「落語による地域振興」に関する連携協力協定を締結
- ◇ 北陸新幹線小浜・京都ルートに決定



小浜 IC の開通前に、舞鶴若狭自動車道を歩く「ハイウェイウォークおばま」を開催（平成 23 年）



市民の皆さんが集まり、日本遺産認定を祝ってくす玉を割る（平成 27 年）